

著者が『医薬品技術セミナー』の講師を務める

「ハイサムGMP技術籍」にラインアップされている
『製造標準を作る「製造指図・記録書作成マニュアル」』、
『製造品質を造る「医薬品製造のトラブル防止と対応ハンドブック」』、

これら2冊の著者の一人である大谷茂義氏がアンリツ産機株式会社主催の「製剤技術セミナー」(2011年2月・大阪会場)の講師を務め「固形製剤の異物混入・交差汚染防止対策」について、事例を交えながらノウハウのエッセンスを詳細に講義した。

他社の追従を許さないユニークな高速・高精度な検査・計量機器を製造し、製品とサービスを提供しているアンリツ産機株式会社は、社会貢献の一つとして上記セミナー等を広く無料で公開している。

当月は、大阪会場の他に福岡、埼玉、横浜でも実施。
2004年5月・大阪会場以来58回を積み上げている。

社団法人日本薬剤学会は、「医薬品製剤技術の研究開発に長年にわたり従事し、研鑽につとめて衆目の一致する高い技術を確立した者の業績を称えるため「製剤の達人:The Master of Pharmaceutical Technology」の称号を授与」している。

「また、本称号は、製剤技術を広く伝承することを目的に本学会が主催する『製剤技術伝承講習会』の講師の認証としても位置付けられている」。

著者の大谷氏は「製剤の達人」の一人である。

当日のセミナーに参画し、これら2冊の著者チームリーダーを務めた小倉敏弘氏も「製剤の達人」の一人である。



私たちハイサムは、これら「製剤の達人」たちの手になる「ハイサムGMP技術書」が、皆様のお手元に直ぐお届けできるようスタンバイ致しています。

ACCESS

アンリツ産機株式会社：<http://www.anritsu-industry.com/>

社団法人日本薬剤学会：<http://www.apstj.jp/>